

## Reading Reflection 2

今週は私とななさんは外国語の教育やグローバルコンピテンシーに関する記事について、発表した。また、今週のディスカッションのおかげで様々なことについてを考えなければならなかった。

たとえば、グローバルコンピテンシーを持てるのに外国語を話せることが必要かどうかと考えた。ACTFLのガイドラインによるとグローバルコンピテンシーの「Communicate in the language of the people with whom one is interacting」という「人々と交流をするの母語でコミュニケーションすることができる」のが必要である。しかし、私の考え方は個人的に必要じゃなくても、本当に役立つである。さらに、もちろんもし世界で皆は他の言語を知らないなら、グローバルコンピテンシーが無理である。グローバルコンピテンシーを持てるのに他の仕方があると思うのだが、もう外国語を学ぶことや海外で住んでいることがのほうがいいと思う。またの方が簡単である。

そのため、サービ斯拉ーニングで私のレッスンに日本語だけじゃなくても、少しずつそういうスキルも紹介しようと思いたいと思う。現在は世界は国際だから、グローバルコンピテンシーや似てるのスキルが大事だと思うからである。